



浦崎 みゆき 議員

ピロリ菌除菌で 胃がん予防対策の 強化を

答 早い時期に取り組んでいく方法を検討したい

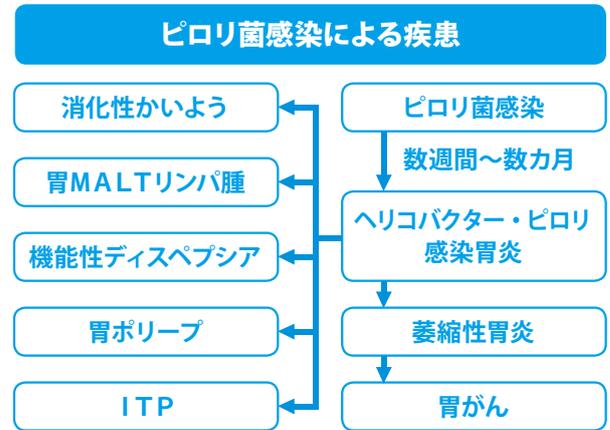
問 胃がんの原因にピロリ菌がある。平成25年よりピロリ菌の除菌が保険適用となった。町民への周知活動はどのようなか。

民生部長 ピロリ菌の検査と除菌は慢性胃炎の方にも保険適用が拡大された。周知は特に行っていない。ピロリ菌とはどういうものか、予防の観点から広報活動をしていく。

問 ピロリ菌感染者が胃がん患者の80%を占めていると報告もある。ピロリ菌検査の無料クーポン券を助成できないか。

町長 町も予防が一番大事だと考える。担当課も胃がん予防を前向きに検討している。早い時期から取り組める方法を検討する。

民生部長 集団健診の胃がん検診はこれまでX線検査のみであった。次年度あたりから内視鏡も実施する方向性が示された。ピロリ菌検査は費用面も含め調査・研究したい。



要援護者の 個別計画を急げ

問 災害時の要援護者名簿と個別計画の状況はどのようなか。

副町長 災害時要支援者名簿を基に貸与名簿を作成した。平成27年6月に社協、民生委員、児童委員へ見守り・協力を目的に貸与している。

民生部長 民生委員やソーシャルワーカーが支援の必要を確

認後、個別の台帳整備を行う。

問 災害者要支援者名簿が活用されるまで時間を要している感がある。こんなに長くかかるのか。

民生部長 名簿提供には個人情報の問題があり、時間がかかっている。要援護者の支援プランをできるだけ早く策定するよう取り組んでいく。

空き家の活用促進を

問 本町の空き家実態調査は行なわれているか。町が仲買となつて空き家を利活用する施策の考えはないか。

総務部長 特別措置法に定義する空き家の調査は行っていない。同法律で緩和措置もある。どの観点から調査ができるか、細かい視点も必要である。どの方法がいいのかも含めて検討したい。